



いなほ



令和3年11月12日
令和3年度学校だより NO.31③
加古川市立平荘小学校

6年生が修学旅行に行ってきました（2日目）

修学旅行2日目は、呉の大和ミュージアムと鉄のくじら館の見学をしました。その後、再び広島市に戻り、昼食をとりました。昼食では、自分で広島焼を焼く体験をしました。

《呉にて》



《呉大和ミュージアム見学より》

呉大和ミュージアムでは、

- ① 近代化（明治～現在）
- ② なぜ、呉で大和がつくられたのか
- ③ 第二次世界大戦と呉
- ④ 戦後復興と呉

の4つのテーマで話を聞きました。

なぜ、呉で大和がつくられたのか。それは、呉の町は島や山が多く、敵の船からは島が邪魔をして攻めにくいからだそうです。その上、湾になっていて、波や風が穏やかなことも利点となりました。呉は、防御に優れた町だったのです。そこで、明治からの工業化が進み、物づくりの中心として発展していきました。呉は海軍の町として発展していきました。船がつくられました。

戦時中、日本は追い詰められていき、特攻作戦（決死の作戦）を取ることになりました。

説明の中で、ミュージアムを見学するときには、「高度な技術があっても、その使い方を間違っはいけないことを学んでほしい。」「平和を考える時、歴史を知ることが大切になる。」と教えていただきました。また、「特攻隊として戦地に赴く当時の大学生の話やそれを聞いた家族の気持ちを考えながら見学してほしい。」とも話されました。子どもたちは、平和についてたくさん考える2日間になりました。

広島焼体験



戦艦大和：10分の1の模型



普段は、お家の人に食事を作ってもらっている子どもたちも、この時ばかりは、自分の力で広島焼をつくることにチャレンジしました。

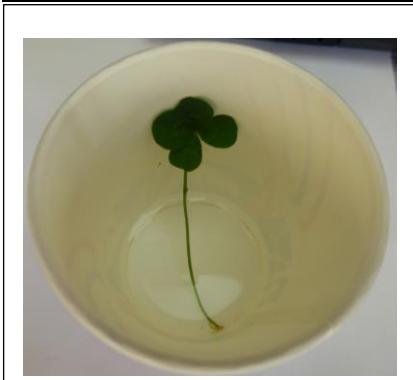
ひっくり返すのが難しかったですが、最後は上手に広島焼を完成することができました。

とてもおいしかったです。

広島焼体験の後、もう一度、原爆ドームを見ることができました。(トイレ休憩のためです)



バスの運転手さんから、四つ葉のクローバーをいただきました



お世話になったバスの運転手さんから、帰りの休憩の際に、「広島の平和記念公園で、四つ葉のクローバーを見つけたん

です。」と子どもたちにプレゼントをしていただきました。少しだけ根っこがあるようにも思います。根が伸びてくれるとうれしいなと思います。



修学旅行を終えて

1泊2日の修学旅行を終えて、子どもたちはどんなことを感じ、何を学んだでしょうか。原爆体験講話では、語り部さんが、「戦争は、尊い命を奪った。人々の夢や希望や未来を奪ってしまつた。亡くなった人たちは、生きてやりたいことがいっぱいあった。死にたくて死んだ人は一人もいない。」と言われました。呉大和ミュージアムの方からは、「高度な技術があっても、その使い方を間違っではいけない。」と言われました。私たちは、2日間、平和について、目で見、耳で聞いて、心で感じながら学習をしてきました。帰校式で、「私たちにできる平和活動は何でしょうか。」と尋ねると、「家族や友達など身近な人を大切にすること」という答えが返ってきました。うれしい言葉です。この修学旅行で学んできたことを今後の生活に生かしてほしいと思います。